

花嫁街道ハイキングコースマップ

令和8年1月15日現在

【花嫁街道・花婿コース】 ♪ 足にやさしいコースです ♪

※コース全体が火気厳禁です

通行止



主な区間距離

和田浦駅	2.4 km
花嫁街道入り口	1.0 km
第一展望台	0.5 km
第二展望台	0.4 km
経文石	0.6 km
じがい水	0.8 km
駒返し	0.7 km
見晴台(カヤ場)	0.6 km
鳥場	1.1 km
旧鳥場展望台	1.3 km
見晴台	0.7 km
金比羅山	0.3 km
花婿山コース入り口	0.1 km
黒滝	0.2 km
はなその広場	0.4 km
いちばら橋	2.4 km
和田浦駅	
一廻り	13.5 km

●花嫁街道の由来

山間集落の上三原部落と海辺の集落との交流の道、古くは塩汲みの道から生活物資の往来、学校への通学路として利用され、かつては花嫁行列もここを通過して嫁いでいったことから、近年ハイキングコースとして整備され花嫁街道と呼ばれるようになった。昔とは多少道すじは変わってはいるが、歴史は古く、今でも経文石、じがい水、猿渡り、馬井戸、駒返し、棧敷塚(馬駆け場)等の地名が残されている。上三原部落も歴史は古く、頼朝伝説に出てくる名馬「スルスミ」を産出したといわれる礎(スルス)森部落、里見伝説の残る五十蔵部落、竹の中部落の竹は浜の漁業の必需品である満漁籠。魚櫛の材料として売るために植栽され生活の糧となった。現在も竹林は多く地名となっている。

●鳥場山(新日本百名山)

ここからの眺望は素晴らしい。房総の山、清澄山・嶺岡・経塚山・御殿山・伊予ヶ岳など。伊豆半島・富士山・伊豆大島等も見え。双眼鏡があるとよい。

●経文石

かつての道は下側を通り、50年くらい前までは見上げるとかすかにぼん字が読み取れたが、風化が進み現在は見えない。落石などの危険もあり、今は上を通るようになった。

●じがい水(自我井水)

二説あり、自我井水とも言われ、山中のかくし田の水利、水源に使われたとも言われている。

●黒滝・向西坊

長者川の中流にあり花園山奥地の水を集めて一気に落ちる。落差15m。向西坊は赤穂浪士の一片岡源五右衛門の家臣で、後出家してこの地で入定した。

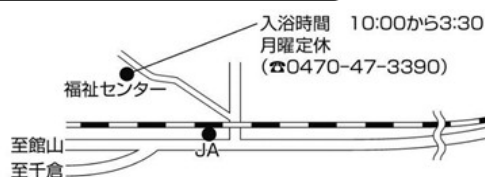
●浜千鳥の歌碑

花園海岸の松林の中、鹿島鳴秋が一人娘の死を胸に秘めながら作詞した『浜千鳥』の歌碑が立っている。

●抱湖園(花木園)

房州の花の開祖、間宮七郎平氏が昭和初期、古くからあった農業用溜池の上の岩山に池を抱くように石を積み、切花用としてつばき、エリカ等数十種の花木を植え、中でも寒桜は古木で60本と数は少ないが1月から2月末まではピンク色の見事な花をつける。

このハイキングコースは、「花嫁街道保存会」が整備をしています。マナーを守り、より良いコースづくりに御協力をお願いします。



お問い合わせ

南房総市観光プロモーション課

電話:0470-33-1091

南房総市観光協会

電話:0470-28-5307